

■ 2009年度 入試問題分析シート ■

東北大学

前期日程

科目

化学

総括	試験時間	2科目 150分	難易度(昨年比)	難化	昨年並	易化
	満点(配点)	理・工 300, 医 250, 保健・歯・農 200, 薬 400 (2科目)	分量(昨年比)	増加	昨年並	減少

〈総論〉

従来どおり大問が3題 (1理論 2無機 3有機) 出題された。1と2はやや易しくなったが、3は難しい。昨年に引き続き論述形式の設問が減少し、字数指定の問題は1題のみとなった。

〈特記事項・トピックス〉

- ・従来どおり、化学Ⅱの選択分野関連の問題は扱われていない。
- ・例年出題された平衡に関する設問が、今年は見られなかった。

〈合格への学習対策〉

基本理論や重要知識をきっちり把握し、それをもとに理論的テーマに関して徹底復習を行うこと。簡潔に計算過程をまとめる練習や、論述型の問題に対するトレーニングも必要である。

設問ごとの分析

問題番号	出題形式	範囲	分野・テーマ	特徴(内容分析・解答上のポイント)	問題レベル
1	記述 択一	I・II	グルコースについて (熱化学方程式, 気体の法則, etc)	問3 凝固点降下度の計算公式の確認。 問7 反応式を用いたモル計算の手法と, 理想気体の状態方程式が理解できていれば良い。 問8 生成熱を用いたオーソドックスな熱化学の計算である。	やや易
2	記述 択一	I・II	電池・電気分解 金属イオンの性質	金属のイオン化傾向を理解していれば, かなりの部分は解答可能である。 電池・電気分解の電極での反応式は, 正確に書けるようにしておきたい。	やや易
3	記述 論述	I	分子量 100.0 の物質の構造決定	与えられた情報を整理するのに, 時間がかかる。 化学的性質についての記述が乏しいので, 各物質の構造を決めるのに, 正確な知識・冷静な判断力が必要である。	難

「問題レベル」は、本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に、問題の難易度を5段階〔難・やや難・標準・やや易・易〕で判断しています。昨年対比ではありませんので、総括の難易度(昨年比)とは連動しません。